

2019年3月19日

## リコーとリコージャパン、社用EV(電気自動車)のカーシェアリングに関する実証実験を開始 ～ 平日は営業車として、休日は近隣住民や観光客向けにカーシェアリングとして活用 ～

株式会社リコー(社長執行役員:山下 良則)とリコージャパン株式会社(社長執行役員:坂主 智弘)は、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、リコージャパン高知支社にEV(電気自動車)2台とEV・PHEV<sup>(\*1)</sup>充電用設備を導入し、平日は営業車として、休日は近隣住民や観光客向けのカーシェアリングとして活用する実証実験を2019年3月28日に開始します。

今回の実証実験は、日産自動車の協力のもと、カーシェアリングサービス「NISSAN e-シェアモビ」を活用して行うものです。社用EVを休日にカーシェアリングとして有効活用することで、車両保有コストや温室効果ガス(GHG)の削減を図るとともに、EVの普及促進に貢献します。

リコーグループでは、2017年4月の第19次中期経営計画のスタートにあたり、事業を通じて注力する5つの重要社会課題を設定し、その一つとして、脱炭素社会の実現を掲げました。その実現に向けて、2050年に自社排出の温室効果ガス排出ゼロを目指す「リコーグループ環境目標」を設定し、徹底した省エネ活動の推進に取り組むほか、事業に必要な電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアチブであるRE100に日本企業で初めて参加するなど、再生可能エネルギーの積極的な活用に取り組んでいます。

また、お客様に対しても、省エネ性能に優れた商品やエネルギー効率を高めるためのサービスを提供することで、バリューチェーン全体での脱炭素社会づくりに貢献することに取り組んでいます。

今回の実証実験では、社用EVを休日に近隣住民や観光客向けにカーシェアリングとして貸し出すことで、EV導入時の運用コスト軽減にどの程度寄与できるかを検証するとともに、地域における温室効果ガスの排出削減に貢献します。また、こうした取り組みを通じ、地域社会とともに脱炭素社会の実現やSDGs<sup>(\*2)</sup>の達成に向けて一体となって取り組む機運を醸成してまいります。

(\*1) PHEV : plug-in hybrid electric vehicle      (\*2) SDGs : Sustainable Development Goals

### <社用EVカーシェアリング実証実験の概要>

期間：2019年3月28日から2020年3月27日まで

場所：リコージャパン 高知支社 敷地内駐車場(高知県高知市北久保12-3)

使用車種・台数：日産リーフ2台

利用可能日：土日・祝日



### リコージャパン高知支社に導入するEV(電気自動車)

※ 会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です

---

## | リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2018年3月期リコーグループ連結売上は2兆633億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>